

平成 1 3 年 度 授 業 実 践 結 果

学校名：古川中

授 業 者 等	授業日	平成 14 年 2 月 日	学 年	第 2 学年
	授業者	中口清浩 半田智樹	教 科	理科
	校 種	小・中・高・特	単 元	天気とその変化
	ねらい	数日間の天気図や観測結果とインターネットによる情報（ひまわり画像、アメダス、ライブカメラによる他地域の天気の様子）から、数日後の天気を予想することができる。		
授 業 の 流 れ	1. 学習課題の確認 数日前から天気図や天気を観測してきたが、それらのデータとインターネットで調べることのできるデータを合わせて、明日、明後日の天気を予想したいと思います。			
	2. 調べるための見通しを持つ。 インターネットで調べることのできる情報は、 ・ひまわり人工衛星の画像、動画。 ・アメダス 降水量、日照時間、レーダーアメダスの雨雲の位置。 ライブカメラによる各地の様子。			
	3. 調査開始 自分の集めたデータ、インターネットのデータなどを各自の見通しに基づいて調べる。教師は、調べている生徒にその見通しを聞き、確認する。			
	4. 調査結果 明日の天気は、晴れだと思う。理由は、移動性高気圧が、九州地方にあり、明日ぐらいには、古川の近くに来そうだから。 九州地方は、現在晴れている。だから、それらの天気が、移動して来るのではないだろうか。 予想だけではなく、理由を大切にしたい。			
	5. 次時へ 明日結果を確認してみたいと思います。うまくできた人、できなかった人ともその理由を考えましょう。			
考 察	インターネットを利用するほとんどリアルタイムで情報を収集することができる。だから、今現在の日本、世界各地の天気、ひまわりやアメダスの情報を集めることができる。意図的に、本校より、東側の地域のライブカメラも見られるようにして、情報を多くしておき、その中で、生徒自信が、自分の見通しの中で、選択できるようにした。（教師も、その点について、生徒の見通しを確認のできる場であった。） 移動性高気圧のとき、冬型の気圧配置など、それぞれの天気の特徴を理解しているか、それぞれの時に実施したい。			

※ I T 活用が分かるように記述願います。